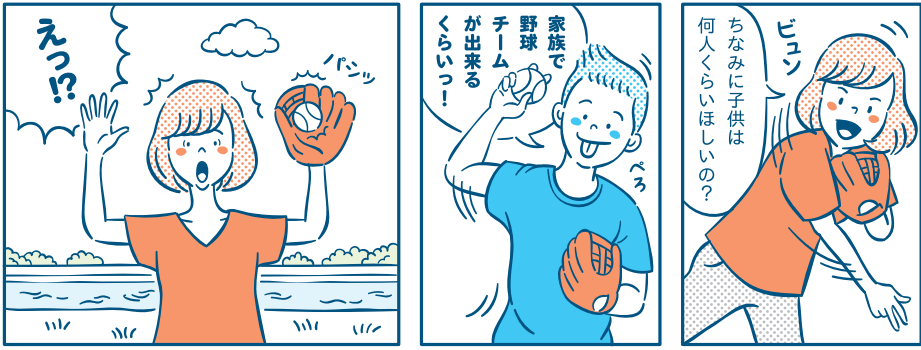
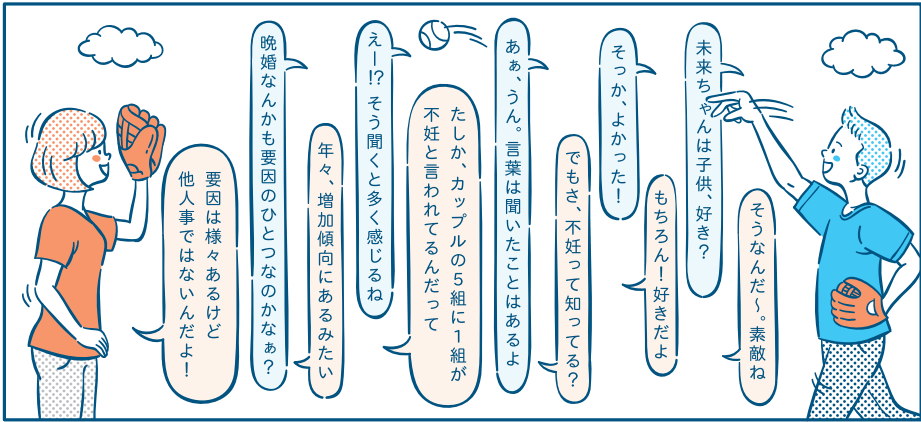
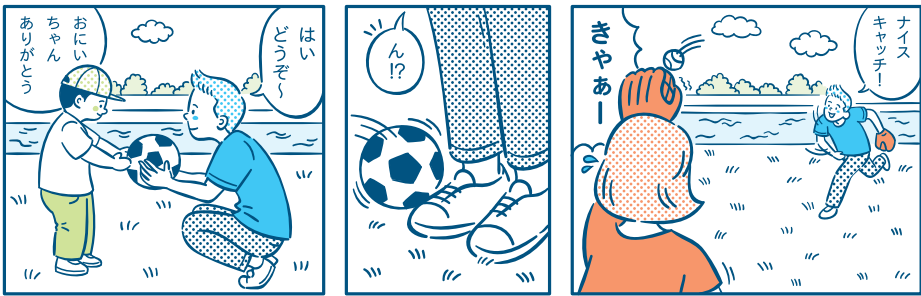






# 不妊のカップルは増加傾向!



## 5組に1組が不妊に悩む時代

### あなたは何歳で子供をつくりたいですか?

不妊を心配している夫婦の割合は年々増加の傾向にあり、2002年は26・1%でしたが、2015年には35・0%となっています。また、実際に不妊の検査や治療を受けた・現在受けている件数も増えており、子供がいな

い夫婦では28・2%、子供が1人いる夫婦では25・7%となっています。その背景には、女性の社会進出や若年層の経済的な不安などにより、結婚する年齢が遅くなったこと。それにと

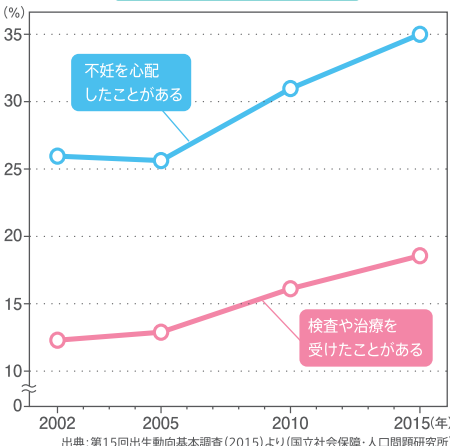
もない、子供を望む年齢も高齢化しているからといえます。同時に、不妊治療が広く普及して検査や治療に対するハードルが低くなったことも要因といえるでしょう。

も増えている。それにより、結婚する年齢が遅くなったこと。それにと

もない、子供を望む年齢も高齢化しているからといえます。同時に、不妊治療が広く普及して検査や治療に対するハードルが低くなったことも要因といえるでしょう。

もない、子供を望む年齢も高齢化しているからといえます。同時に、不妊治療が広く普及して検査や治療に対するハードルが低くなったことも要因といえるでしょう。

不妊の心配・治療経験の割合



をとればとるほど、男女ともに年齢化しているからといえます。同時に、不妊治療が広く普及して検査や治療に対するハードルが低くなったことも要因といえるでしょう。

# カップルの1組/5組は不妊!

















